

消火栓を掘り出せ!



花輪第一中学校
除雪ボランティア

記録的な豪雪に見舞われた今冬、花輪第一中学校の生徒たちが消防水利の除雪をしました。地域を守る頼もしい若い力です。

「伝えよう 森の大事さ 火の怖さ」



※平成27年山火事予防運動統一標語

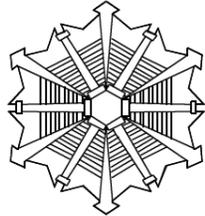
- ◆ これからの時期は、空気が乾燥し風も強くなるので山火事が発生しやすくなります。山火事の原因は人為的なものがほとんどで、一度山火事が発生すると消火は困難で、一瞬にして木々が焼失します。また、森林が回復するには長い年月と多くの労力を要することとなります。
- ◆ 大切な森林を守るため、わたしたち一人一人が次のことに特に注意し、山火事予防を心がけましょう。
- ◆ 枯草の近くなど火災が起しやすい場所ではたき火をしない。
- ◆ たき火や野焼きをするときは周囲にも知らせる。
- ◆ 風が強いとき、空気が乾燥しているときはたき火をしない。
- ◆ たばこは絶対投げ捨てない。
- ◆ 火遊びはしない、させない。



防災コラム

第38号
編集・発行：平成27年 春夏号
鹿角広域行政組合消防本部・消防署
秋田県消防協会鹿角支部

消防 鹿角



鹿角広域行政組合消防本部管内
出動件数
平成26年1月～平成26年12月
総出動件数 1622件

①火災	25件
②救急	1362件
③救助	42件
④自然災害	20件
⑤遭難捜索	7件
⑥その他	166件

春の火災予防運動

4月5日(日)～4月11日(土)

消防団による火災想定訓練

- ①日時：平成27年4月5日(日) 早朝
- ②場所：八幡平：八幡平体育館
小坂町：小坂鉄道
レールパーク

全国統一防火標語
もういっかい
火を消すまでは
まあただよ

※午前中に消防車による防火パレードを行います。
※火災予防週間は7時～19時にサイレン・警鐘が鳴ります。火災と間違わないようご注意ください。



消防職員意見発表秋田県大会



去る2月13日、秋田市ホテルメトロポリタンにおいて「第38回消防職員意見発表秋田大会」が開催され、当消防本部から虎渡智実副士長が出場しました。これは全県各消防本部内の予選を勝ち抜いた消防職員が一同に会し、内容・表現力を発表する機会となっております。

日頃の消防業務や訓練を通して感じ得た「心肺蘇生法」の重要性をもとに、市民参加型の心肺蘇生選手権を開催し市民へアピールしていきたいと提案。多くの消防関係者に訴えました。

★ 救助隊 頑張ってます ★

去る3月14日、神奈川県川崎市にて「第8回階段駆け上がりレース」が開催され、当消防本部からも休暇を利用して、4名の救助隊員が参加しました。この大会は、日本警察消防スポーツ連盟主催の下、消防活動における極限状況を想定、体力の維持向上を目的として開催され、防火衣や空気呼吸器を着装し、約200mの高さがあるビルを一気に駆け上がる過酷な競技です。日頃鍛え上げられた、全国から約200名の剛脚自慢が集う中、見事に佐藤雄太隊員が年別で優勝。兎澤俊幸隊員が3位入賞を果たしました。佐藤隊員は「この経験を現場活動に活かして今後も体力向上に努めたい。」と優勝の喜びを噛み締めていました。

(右は兎澤隊員・左は佐藤隊員)



消防通信

龍吐水

りゅうどすい

★ 防災活動車 ★



昨年末、新しく軽バン型の「防災活動車」が配備になりました。鹿角市消防団女性消防団員の活動を推進、普及するため、公益財団法人日本消防協会から車両交付を受けたものです。

機動力を活かした現場活動はもちろん各種広報活動やイベント等、幅広い活躍が期待されています。

消防無線がデジタルへ



鹿角広域行政組合消防本部では、消防救急業務で使用していたアナログ無線の使用期限が電波法の改正に伴い、平成28年5月末までとなったことから平成25年度から無線のデジタル化整備を実施し、平成27年8月頃の新庁舎完成に合わせ運用を開始します。

また同時に高機能消防指令システムを導入し、通報者の位置や災害地点を素早く特定して現場到着までの時間短縮を図り、FAXによる119番にも対応させるなど、住民が安心に暮らせる災害に強い消防体制の強化に取り組みんでいます。



災害情報メール配信しています

鹿角市、小坂町で発生した災害情報を携帯電話やパソコンにeメールで配信しています。登録のしかたは市・町のメールアドレスへ空メールを送信するだけ！返信されたメールに記載されたURLへ接続し、希望する情報をチェックし、登録完了です。氏名や連絡先を入力する必要はありません。右のQRコードでもURLを取得できます。詳しくは、鹿角市・小坂町のホームページをご覧ください。



- ・消防団員の方は消防署でも登録できます。
- ※消防団員の方が登録の際は、消防署(23-5601)へご連絡ください。

情報配信メール登録用eメールアドレス
鹿角市：e-kazuno@xpressmail.jp 小坂町：e-kosaka@xpressmail.jp

メール登録用QRコード



鹿角市



小坂町



高齢者世帯住宅防火指導
安心して暮らせるまちづくり

高齢化や核家族化が進行し、一人暮らしの高齢者や高齢者同士の世帯の増加に伴い、高齢者が火災で亡くなったり、負傷されたりすることが多くなっています。

当消防本部では高齢者世帯へ訪問し火災を起こさないための指導を行っています。高齢者世帯に限らず、皆さんも火事を起こさないようにしましょう。



参加した鹿角市消防団女性消防団員
 上蘭美佐子さんより報告 (上段左2人目)

参加した鹿角市消防団第15分団第1部
 板橋知也さんより報告 (上段右2人目)

平成27年2月18、19、20日に東京都で行われた「第14回消防団幹部候補中央特別研修」に参加させていただきました。消防団は災害発生時に人命救助と共、地域コミュニティの核として重要な存在であることを知り、大変深い研修内容でした。団員として地域住民と密着した活動を展開していきたい、市民の方から「声をかけやすい雰囲気作り」を心がけ、自分たちの安全は自分たちで守るという意識を高めるお手伝いができれば嬉しいですね。

平成27年2月4、5、6日に東京都で行われた「第14回消防団幹部候補中央特別研修」に参加させていただきました。この研修は消防、防災に造詣が深い講師から現代の消防団と地域の関わり方、そしてこれからの消防団について等、重要なことを学びました。今回は全国から130名を超える方々が参加しており、各地の課題や取り組み等、多くの情報を吸収できました。1番の収穫は参加者で交流を深め、全国の団員同士、ネットワークを広げられたことです。今後もこのネットワークを大切に今回の研修で得たものを活かせるよう努力していきます。

救急車の適正利用をお願いします

救急車は、ケガや急病などから皆様の命を守るため、限られた台数を最大限に活用し、昼夜を問わず出動しています。鹿角消防では、4台の救急車に対応していますが、近年、救急車の出動件数は増加、それに伴い現場に到着するまでの時間が長くなっています。

救急車は、緊急性があり、命にかかわるようなケガや急病の人を一刻も早く病院へ搬送する必要がある場合に利用するものです。安易な利用によって救急車が出払ってしまつと、「救える命が救えなくなるおそれ」があります。緊急性がなく、自分で病院に行けるような場合には救急車以外の公共交通機関などを利用してください。

救える命があります



異常気象から命を守る

わが国は国土が細長く、中央に脊梁山脈が走っているため、川の上流から河口までの距離が極めて短かくさらに台風を通り道に位置し雨季もあります。豪雨が降ると川の全域が豪雨域に入ってしまう、瞬間に水位があがります。近年多発している記録的雨量も記憶に新しいと思います。このような大雨による河川の氾濫や土砂災害がこの鹿角地域も例外でなく、全国各地で発生しています。

これに対し気象庁をはじめ、消防や自治体が警報や気象情報などの防災気象情報を発表し注意や警戒を呼びかけています。自然災害のデパート、震災大国とも言われる日本で暮らすためにも、これらの情報を有効に活用し災害から命を守ることが重要です。

遭難に注意！～山菜より命が大切～

*山菜採りによる遭難事故が毎年発生しています。絶対に迷わないという過信は持たず、次のことに注意しましょう。

- 入山前**
- ◆ 家族や友人に行き先や帰宅時間を伝える。
 - ◆ 事前に天候を確認し、悪天候時は入らない。
 - ◆ 目立つ服装をし、寒さ対策を万全にする。(白など山に無い色の服装が目立ちます！)
 - ◆ 水や食料、持病の薬を持つ。
 - ◆ 携帯電話、ライター、発煙筒などを持つ。
- 入山後**
- ◆ 2人以上で入山し、常に仲間同士で声を掛け合う。
 - ◆ 自分の体力や体調に合わせ無理はしない。
 - ◆ 崖や急斜面、熊の足跡のある場所など、危険な場所は避ける。
 - (熊よけ鈴を携帯する)
- 迷ったら**
- ◆ むやみに動き回らず、落ち着いて行動する。
 - ◆ 呼びかけなどが聞こえたら、大きな音を出す。(笛が便利)
 - ◆ ヘリコプターの音が聞こえたら広い場所でタオルなど目立つものを振って合図をする。

自分たちの地域は自分たちで守る

消防団地域防災指導員を派遣します

鹿角市消防団では、消防団と自主防災組織の連携を強化し、市民の防災意識を高めるため、平成25年12月に地域防災指導員制度を創設しています。

地域防災指導員は各消防団から1人以上選出され現在は62人が講習を修了し認定されています。

自主防災組織が行う防災訓練の企画や活動支援に関することなど幅広くお手伝いします。自主防災組織の訓練などでお困りの事がありましたら、消防団地域防災指導員を派遣しますので、「ご連絡お願いします」。

総務課危機管理室 (30) 02099
 消防本部 総務課 (23) 56001

